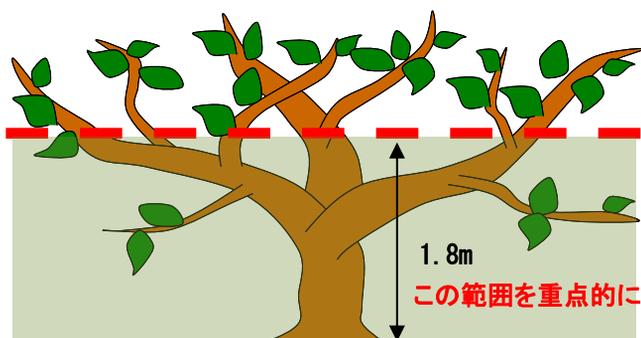


岐阜県農業技術センターニュース No.26

カキ樹幹害虫の効果的な防除手法が登録されました（環境部）

深刻化するカキの樹幹害虫に対し、新たな防除手法として研究を進めてきました「高濃度少量散布法」が平成26年3月に農薬登録され、生産者の皆さんにご利用いただけるようになりました。

4月下旬～5月上旬にフルベンジアミド水和剤（商品名：フェニックスフロアブル）の200倍液を、樹幹部に樹当たり2ℓ（成木の場合）散布することにより、長期間被害を抑制できます。なお、既に入中に入り込んだ虫には効果がないので、粗皮を除去したのち散布します。電動噴霧器などの散布圧の低い防除機を用いることで、少ない薬液でもムラなく散布できるだけでなく、農薬飛散を抑えることもできます。



電動噴霧器による高濃度少量散布状況（右）と重点散布範囲（左）
電動噴霧器を用いることで、少量でもムラなく散布できます。
散布は地上1.8m以下の樹幹や枝を重点的に行います。

南濃試験地の試験研究機能移転と就農支援（野菜・果樹部）

当センター南濃試験地は平成26年4月より「岐阜県就農支援センター」として生まれ変わりました。

南濃試験地では昭和37年4月の設立以来、約半世紀にわたって海津農業の発展に寄与するべく技術の開発・研究に取り組んできました。

近年は、トマトやキュウリなどの野菜類を対象として研究をすすめてきましたが、そうした役割は今後、当センター本所へと移転、継続されることになります。

南濃試験地で取り組んできた「冬春トマトの葉先枯れ症軽減技術」に関する研究もより効率的に進められ、迅速に成果が得られることが期待されます。

なお、就農支援センターではポット耕を活用した冬春トマト栽培者の育成研修が行われますが、当センターも活動に協力します。



南濃試験地の旧事務所



葉先枯れ症対策技術の確立



担い手育成事業

フランネルとカレンジュラの新品種を育成しました

(花き部)

●フランネルフラワー「FWY03」(系統名)

鉢花用フランネルフラワー「フェアリーホワイト」と「エンジェルスター」は、当センターが育成した品種で、それぞれ市場で高い評価を得ています。

既存品種の花色は白色で、草姿や花付、開花性が主な違いでした。今回育成した品種は、本種では初となる黄系(クリーム)の花色を持つのが最大の特徴です。

花色以外は、既存の「フェアリーホワイト」とほぼ同様であるため、特別な栽培技術は必要ありません。

クリーム花色の新規性は高く、品種バリエーションと新たなニーズの創出による需要拡大が期待されます。



フェアリーホワイト FWY03 (新品种) エンジェルスター

●かれんシリーズ「岐阜M06」(系統名)

かれんシリーズは、当センターが育成した種間交雑カレンジュラで、5種類の花色バリエーションを持つ品種があり、冬期に栽培できる品目として高い評価を得ています。

本品種はこれまでの品種「オレア」と比較し、挿し穂が多く取れるため、生産性が優れます。また立性となるため、これまでに無いイメージの鉢花・花壇苗用きんせんか(カレンジュラ)です。

ジャパンフラワーセレクションで2賞を受賞し、花壇苗として商品性が高く評価されました。



オレア 岐阜M06 (新品种) オレン



ベストフラワー(優秀)賞、ニューバリュー(特別)賞を苗物部門コンテストで受賞

人事異動(平成26年4月1日付)

よろしくお祈りします

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
越川 兼行	センター所長	中山間農業研究所	矢野 秀治	東濃農林事務所	センター所長
西村 和昭	管理監兼総務課長	環境生活部廃棄物対策課	桂川二太郎	退職	管理監兼総務課長
松尾 尚典	生物機能研究部部長	(農技セ)環境部	河村 敏	水産研究所	生物機能研究部部長
棚橋 寿彦	環境部部長	(農技セ)環境部	安田 雅晴	農業経営課(海津)	野菜・果樹部専門研究員
野村 康弘	環境部専門研究員	西濃農林事務所	足立 昌俊	飛騨農林事務所	環境部専門研究員
前田 健	野菜・果樹部主任研究員	中山間農業研究所	宮田 洋輔	恵那農林事務所	野菜・果樹部主任研究員

岐阜県農業技術センター

〒501-1152 岐阜市又丸729-1

Tel 058(239)3131

<http://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

池田試験地

〒503-2407 揖斐郡池田町般若畑631-11 Tel 0585(45)3837